



## 談 事 知 頭 卷

# 岡山発 国際貢献 を考える

司会進行

特定非営利活動法人  
AMDA理事長

菅波 茂

元国連事務次長

明石 康

岡山県知事

石井正弘

### 明石 康/あかしやすし ●プロフィール

秋田県出身。1957年日本人初の国連事務局職員となる。広報や軍縮、人権問題担当の各事務次長を歴任。その間カンボジアの再建や旧ユーゴスラビアの紛争解決などに尽力。現職は日本紛争予防センター会長、公設国際貢献大学校相談役など。

### 菅波 茂/すがなみしげる ●プロフィール

広島県出身。医師。1984年AMDA(アジア医師連絡協議会)を設立し、海外における医療救援活動などに先駆的に取り組む。2001年公設国際貢献大学校校長に就任。

## 国の枠を超えた 協力と人材育成

菅波 今日、元国連事務次長の明石康さんと石井知事に岡山発の国際貢献についてお話を伺っています。

① 明石さんは国連にお勤めするとき、ウ・タント事務総長の下で国連大学の草案を書かれて、国家間の紛争をなくすためには国際間の誤解をなくしていかなければいけない、そのためには青少年の教育が一番大切であると説かれています。そういう観点から、昨年哲多町に設立された公設国際貢献大学校をどのようにご覧になりますか。

明石 ウ・タント事務総長が国連大学を考えたときは各国政府の人たちのほとんどは頭が固くて、国際協力についてもそれぞれの国の考え方の枠から抜けられなかった。やはりもっと若いうちに真の平和とか国際協力の精神を植え付けなければいけないという、国際関係への挫折感から国連大学構想が出てきたんですね。その後、換骨奪胎<sup>かっくつたつ</sup>されて、所期の構想とはやや違った国連大学になって現在に至っているのですが、岡山県における公設国際貢献大学校の構想は、大変に時宜<sup>ときぎ</sup>を得たすばらしいものだと思います。

つまり、現在、国連においては

### ②公設国際貢献大学校

2001年9月、哲多町田淵に開校。哲多町が設置し、AMDAが協力して運営する国際ボランティアなどの人材養成機関。明石康氏と石井知事ほかが相談役、菅波茂氏が校長。



### ①ウ・タント事務総長

ビルマ(現在のミャンマー)出身の元国連事務総長(1961~71)。1969年、第24回国連総会への年次報告で「国連憲章が定める平和と進歩への貢献を目的とする真に国際的な大学」として、国連大学の創設を提唱した。1974年没。

加盟国だけでなく、NGOや地方自治体、あるいはジャーナリスト、学者などの人たちの意見がますます重要になってきているわけですね。そして、グローバル化の時代となり、昨年9月11日にアメリカで発生した同時多発テロ事件以来、テロリズムが国境を越えた一つの脅威であるということを経験した人々が身にしみて知るようになったわけですね。そういうものに対処するためにも国の枠を超えた協力が必要になってきています。

ある産業基盤や人材、それから医療・福祉先進県といった蓄積がありますから、そういった特色を發揮しながら国際貢献先進県を目指そうというものです。また、国連登録のNGOであるAMDAなど世界に向かって大きく発信し、大活躍されているNGOが岡山に大きく育っています。さらに、カンボジアで井戸を掘ったり、孤児院を作るといった活動や、あるいは毎年マレーシアの障害者の方々を慰問するなど、岡山県の中にも様々なNGOの活動が広まってきておりますから、こういったNGOを大いに育てていこうということもねらいにあるわけなんです。そういった中で、私は、青少年に公設国際貢献大学の充実した講座のもとでしっかりと勉強をしていただく、あるいは実践活動をしていただくという今回の哲多町における取り組みを大変高く評価していますし、県としてもそれに協力をされたAMDAのすばらしい活動をぜひ応援していきたいと思っております。今後、県南で地球環境についての活動を広げたいというAMDAの構想も聞いておりますが、これにつきましても県としてできる限りの支援をさせていただきます。「国際貢献先進県おかやま」を目指した取り組みを大いに進めていきたいと思っております。

## 自治体やNGOなどが果たす役割

菅波 さて、明石さんは国際社会で必要なのはメッセージ性であり、日本発の特徴と特性を持って、しかも世界が理解してくれる平和論を発信しないと意味がないと言われていますね。今、知事が言われたように岡山には多彩な材料が揃っています。今、知事が言われたように料理してどういう形で世界に届けるのかを考えるためには、明石さんが常に言われているように世界が納得する日本発の平和論を発信していくことが一番大切であると思います。この点についてお聞かせください。

明石 戦後50数年たちましたが、日本は国際平和の恩恵をこうも受けてきた反面、自ら世界平和に貢献するということ積極的にやるものには欠けていたと思うんですね。日本は島国ですし、特にバブルがはじけて以来なんとなく消極的になり自分の中に閉じこもりがちになっていまして、私はそれを非常に残念なことだと思っています。日本にはたくさんの人材もいるし、その人たちは、アジア、アフリカその他の発展途上国に貢献できる貴重な経験もあり、また、ノウハウも持っています。ところが、そういうものに対する世間の認識が足りないのではないかと思っていますね。日本のODA（政府開発援助）についてもいろいろ議論がありますが、単に金を出す、機材を与えるというだけではなくて、特に若い人たちが自ら海外に行って汗を流し、開発問題や平和の問題を現地の人と一緒に考えるという積極的な姿勢が必要だと思っています。幸い、日本の援助政策も大型の公共事業から、きめの細かい草の根の援助、つまりNGOや民間の人たちが主体になって、国際機関や政府の頭脳になり、時には手となり足となり、目となり耳になって実施するという時代になりつつあります。そういう意味でAMDAという先見性のあるNGOが、岡山県と信頼し合いながら、日本と外国の人材が新しい開発のやり方や平和をつくる手段について一緒に考え、一緒に経験する場を作ったということは、これからの日本のグローバル化の上で大きな戦力になるのではないかと期待しています。

菅波 明石さんは国があつて国連があるのであり、国連は加盟国の安全保障を優先的に考えた上で動かなければいけないと一貫して言われています。安全保障というのは国のコンセプトだと思えますが、これといわゆる国際貢献というものをどのように整理して考えれば良いと思われませんか。



④AMDA(Association of Medical Doctors of Asia, アジア医師連絡協議会)

1984年に設立された国際医療ボランティア組織。岡山県に本部を置き、発展途上国などにおいて、戦争・自然災害・貧困などで困難な状況にある人々への医療救援と生活状態改善のための支援活動を行う。2001年8月、岡山県から特定非営利活動法人(NPO)の認証を受けた。

③NGO(Non Governmental Organization, 非政府組織)

開発問題、人権問題、環境問題、平和問題など、地球規模の問題の解決に「非政府」かつ「非営利」の立場から取り組む市民主体の組織。



**明石** 国の安全保障ということ

確かに大事ですが、安全保障はもっと広い見地から考えなければなりません。軍事面もありますが、経済社会面の確立、例えば、世界の5人に1人はまだ1日の所得が100円以下であるといった貧困の問題をそのままにして、果たして我々の安全や平和があり得るのでしょうか。アフガンやソマリアやスーダンのような状況をそのままにして、我々が安穏と安全を享受していることはできないと思うんです。こうした意味で最近言われているのは、「人間の安全保障」ということです。これはそれぞれの国が一人立ちできるように、法の支配とか人権の確立とか経済発展とか、そういうことを今までの安全保障にプラスして考えようではないかというところで、これは正しいことだと思っ

ています。いろいろな機会がありますから、自分の果たせる役割は何だろうかということ考えて自治体や民間の団体が働く、そういうきっかけはたくさんあると思いますね。

**知事** 今、明石さんのお話をお聞きして、我が岡山県も国際貢献において一定の役割を果たすところが大きいのではないかと改めて思いました。岡山県は様々な技術を持っており、特に農業に関しては中四国の中で一番進んだ技術を持っていますし、教育県とも言われ優れた人材がおり、医療・福祉の非常に優れた先進県でもあります。こうした様々な技術を持ち人材の豊富な岡山県に、AMDAをはじめとするNGOのすばらしい活動が底辺を広げてきています。これを「国際貢献先進県おかやま」の活動につなげて、明石さんにお話をいただいたような活動にも一定の貢献ができるように県としても仕組みづくりを行い、そして、民間やNGOが中心となって活動していただけるバックアップ体制

**岡山発の国際貢献**

を整えていくことが大変重要なことだと、明石さんのお話を聞きながら思いました。これからやることがたくさんありますね、頑張ってくださいと思いますね。

**菅波** 実に、岡山県には、あの阪神大震災のときのように、弱者が存亡の危機に面したときに動くという精神風土があるんですね。災害など一刻を争うときに、いかに早く物資を届けるか、あるいは人を送り込むかという国際救援活動に関して、岡山県は既に予算を組まれていますね。

**知事** はい、国際救援拠点形成の調査を今年度予算の中に組み込んでおり、ぜひ作り上げていきたいと思っています。

岡山空港は昨年10月、地方空港として初めて3,000メートル滑走路を有する空港となったわけですね。9月11日の同時多発テロ事件の直後でしたけれども、岡山県内の方々がぜひ激励に行きたいということもありまして、3000人近くでチャーター便を仕立ててアメリカに行きました。そういう意欲あふれる方々がたくさんいらっしゃるし、3,000メートル滑走路を有する岡山空港ができあ

がったので、これを国際貢献空港として活用できないだろうかという気持ちがございますね、これから具体的な構想を策定して、すばらしい中身に作り上げていこうと思っております。滑走路が長くなると多くの救援物資を乗せた専用の貨物便が飛び立って目的地へ直行できるわけですから、空港を活用した国際的な救援、備蓄等をする国際救援拠点を空港周辺に設ける構想の具体化を急ぎたいと思っています。

**明石** 石井知事がおっしゃったことは本当にすばらしいことですし、まさにそういう形での日本発の世界へのメッセージは高く評価されると思います。台湾やトルコの大地震の時も、ニュースが日本に伝わって24時間以内に緊急救援部隊が現地に飛び立ったわけですね。岡山県がそういう緊急援助の重要な拠点として動くならば、日本全体のためにいいと思います。また、私は国連でこういう問題の責任者を務めたこともありますね、災害や戦争があったときの緊急援助だけでなく、その後の中・長期的で腰を落着けた復旧や復興についても、一貫した体制のもとに各国がどういふふうに関与を分担するか、また、各国の中で政府とNGOが



**⑤ソマリア、スーダン**  
 アフリカ東部に位置するソマリア民主共和国とスーダン共和国は、いずれも内戦や災害が続き、多くの難民が生まれている。



どういふふうに分担するか、地方自治体は何をやるかということを見極めながら行っていかなければなりません。日本に期待されているのはこうしたことですし、それができれば本当に日本のイメージももっと鮮明になると思いますね。その意味で私は、岡山県がそういうことを志しておられるというのは、すばらしいことだと思います。

日本は今やODAの総額では世界1位となっていますが、1人当たりのODAの額はスカンジナビア諸国などに劣っていますし、国際貢献の専門家の数も少なく、世界的なNGOも残念ながらまだまだ育っていません。そういう意味でAMDAという先進的で先覚的なNGOがある岡山県ですから、それを資産として使いながら、特に先ほど知事も菅波さんも強調された人材の育成に大いに力を入れてやっていただけるとさらに時宜を得たものになると思いますね。

知事 県としても高校生の国際ボランティアを養成するとか、国際協力の専門要員を養成するという

ことを公設国際貢献大学校で行っております。哲多町の公設国際貢献大学校で非常に熱心な人材が育ってきており、私もうれしく思っております。また、実際に東南アジアなどの現地へ行って具体的にどのような国際貢献ができるかということも勉強する必要がありますかと思っております。青少年が海外に出て行くという実践活動にも応援をしていこうと、大いにこういう方面に力を入れてこれから伸ばしていきたいと考えております。

明石 すばらしいことですね。日本の大学改革がいろいろ言われておりますけれども、私は、4年の大学生活のうち1年くらいは留学させるべきだと思っています。その1年間の、できれば半年は先進国で勉強し、残りの半年はアジア、アフリカないしは中東の途上国の現場で国際協力にお手伝いするのがいいんじゃないかと思っております。理論的に勉強するだけでなく、本当に実地で汗を流しながら学ぶということがきわめて大事だと思うんです。そういうことを公

設国際貢献大学校を中心に、理論的に学ぶことに加えて、豊かな実地の中で力を蓄えて能力を養うという方針は非常に適切なものだと思います。

### パートナーシップで築く国際貢献先進県おかやま

菅波 最後に、国際社会の中で信頼関係をうち立てるために絶対これだけは必要だということをお話しください。

明石 私は国際的な貢献も自分の足下から始まると思うんです。そういう意味では、いわゆる国際人になるためにも、我々は自分の国、日本をよく知りその問題を把握することが必要です。遠くを夢見ながら勉強する国際人ということではなくて、ローカルなものとグローバルなものをつなぐ大胆な発想を持ち、地味な努力をたくさんして

もらいたいと思うんですね。そういう意味では一つの専門を身につけると同時に、これは岡山県の国際化推進プランでも強調されていますけれども、やはり我々は英語の能力をもっともつと身につけないといけません。アジア最低と言われていますが、我が国の英語力をなんとかするということも国際化の重要な問題の一つです。自分の中にはアピールするものを持って

いるにもかかわらず、それをどうやって表現していいかということでは日本人はかなり劣っています。こうした点にも配慮して、自分の力を国際的に試すという気迫を持ってやっていけるようになってほしいと思いますね。



菅波 私たちも岡山発の国際貢献というところで、この公設国際貢献大学校から優秀な人材をどんどん出していきたいと思っています。

知事 そのためにもAMDAにはこれからも引き続き、世界の皆さんと団結され、国際貢献にさらに大きく頑張っていたきたいと期待をいたしております。今日は明石さんから大変有意義なお話をいただきましたけれども、岡山発の国際貢献を進めるための施策は様々なものがあります。やることはたくさんあるし、また、できると思うんです。皆さんとパートナーシップを組んで、ともに手を携えて国際貢献先進県を目指していきたいと思っております。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

菅波 本日は、どうもありがとうございました。

明石知事 ありがとうございます。

### 「新おかやま国際化推進プラン」

21世紀初頭における岡山県の国際化推進の基本的方向と推進すべき施策を示した指針。「パートナーシップで築く世界に開かれた岡山」を基本目標とし、①国際感覚豊かな人づくり、②共生社会の創造、③国際競争力のある産業づくり、④海外とのネットワークの構築、⑤国際貢献先進県をめざした対応の5つの施策を柱としている。2001年3月策定。

